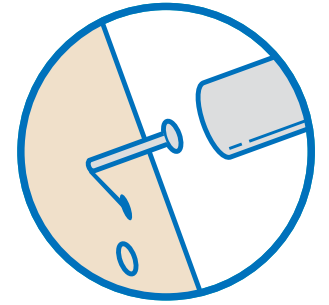


ルーフキーフ®



釘の打てる屋根モルタル用混和材



株式会社 トクヤマ エムテック

⚠ 注意事項

■使用上の注意事項

1. 湿気厳禁です。必ず屋内にて、パレット等の上で床面より離して保管してください。
2. 1回に練る量は1時間以内に使い切る量にしてください。
3. 規定の水量を超過すると、モルタルが分離したり、規定の強度が得られなくなりますので、特に注意してください。
4. 練る時は、袋の全量を使い切るようにしてください。

■安全上の注意事項

1. 施工時には防塵マスク、防塵メガネ、手袋等の保護具を装着してください。
2. モルタルが皮膚に付着した時は、すぐに清水で洗い流してください。
3. モルタルが目に入った時は、すぐに目を清水で十分に洗い、状況に応じて医師の診断を受けてください。

■輸送上の注意事項

1. 袋の損傷による内容物の漏れがないことを確認してください。
2. 転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行ってください。
3. 湿気、水漏れに注意してください。

■漏出上の注意事項

1. 飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋等に回収してください。
2. 排水は中和、希釈処理等により、河川等に流出しないように対策をとってください。

■廃棄上の注意事項

1. 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
2. 製品、混練材料、器具等の洗浄水は、産業廃棄物として適切な処理をしてください。

■その他

1. その他の必要事項については、製品安全データシートをご覧ください。
2. 粉体製品は、乾燥した場所にパレット等の上に乗せて保管してください。
3. 本カタログに記載されたデータは、実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
4. データ・規格については、本カタログの印刷時のものであり、その後変更することがあります。
5. カタログの記載内容は、2011年12月現在のものです。

株式会社 トクヤマ エムテック

東京本社 103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-2-5 ERVIC人形町6F
TEL 03-5643-3601 FAX 03-3249-3615

大阪支店 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

九州支店 861-0821 熊本県玉名郡南関町大字下坂下4821-1 ((株)熊本砂砂業 内)
TEL 0968-53-9201 FAX 0834-62-7202

中国営業所 745-8648 山口県周南市御影町1-1 (株)トクヤマ セメント開発グループ2F
TEL 0834-62-7201 FAX 0834-62-7202

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本砂砂業(熊本)

URL <http://www.k-tokuyama.co.jp>



販売店

特殊軽量弾性混和材

ルーフキープ®

雨の多い日本の気候や美しい景観を考えた場合、カラフルなデザインを設計できる傾斜屋根は、日本にはなくてはならない建築様式です。鉄筋コンクリート建築物についても、従来の陸屋根形式にかわり、傾斜屋根形式が増えつつあるなか、その下地モルタル用混和材として開発されたのが、特殊軽量弾性混和材「ルーフキープ」です。この「ルーフキープ」を用いることにより、下地材として満足できる性能を十分発揮し、さらに作業の簡易化が可能となります。

特長

1 安定した保釘力

ルーフキープは工場製品ですので、材質のバラツキがありません。そのため、安定した保釘力を発揮し、しかも長期間にわたって釘打ちが可能です。

2 軽量性

普通モルタルの約2/3の軽さですので、建物の軽量化がはかれます。

3 経済性

従来の工法に比べてコストが安く、工期の短縮、省力化、工法の合理化に大いに役立ちます。

4 施工性

ポンプ圧送が容易であると同時に、性状変化がほとんどありません。またコテ塗り作業も極めて良好ですので急勾配面の施工も可能です。

5 断熱・防音性

ルーフキープは特殊軽量弾性混和材ですので断熱効果、防音性に優れています。

6 耐久性

耐凍結融解、耐熱性に優れ、長期的に安定しています。

7 耐ひび割れ性

ルーフキープはセメントとの親和性が抜群によいため、ひび割れが発生しにくくなっています。



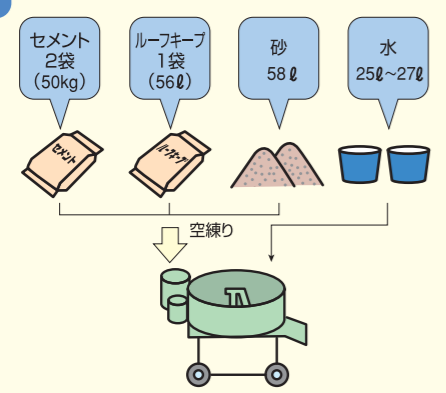
NET : 56ℓ紙袋入り

標準配合

〈1m³当りの配合表〉

セメント	砂 (1.50kg/ℓ)	ルーフキープ (56ℓ入)	水
470kg	0.54m ³ (810kg)	9袋	約245ℓ

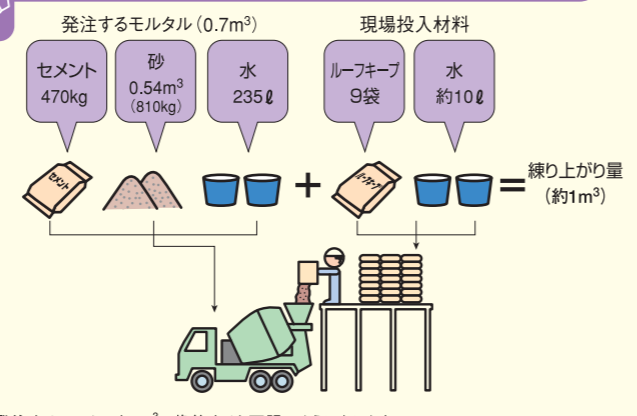
モルタルミキサー練り用配合表



※砂は湿潤状態としております。

練り上り量	施工面積 (40mm厚)
約107ℓ	約2.7m ²

生コン車練り用配合表



発注するモルタルを1m³に換算すると下記ようになります。

セメント	砂	水
672kg	1,157kg	336ℓ

※生モルタルにAE減水剤等の混和剤の混入はさけてください。保釘力低下の原因となります。

施工方法

下地の種類や勾配に応じて施工方法が異なりますので、下表を参考としてください。

屋根勾配	施工方法	工程数	下地処理法
5/10以下 (27°)	コンクリートポンプ 又は、モルタルポンプ	1	水打ち、又はモルタル用接着剤にてシーラー処理 (当社、キープジョン)
5/10~10/10 (27°~45°)	モルタルポンプ 又は、コテ塗り	2	モルタル用接着剤にてシーラー処理 (当社、キープジョン)
10/10~20/10 (45°~63°)	コテ塗り	3	ポリマーセメントモルタルにて下地処理

性能

試験項目	材令	試験値	備考
気乾比重 (kg/ℓ)	—	1.40	
曲げ強さ (N/mm ²)	28日	2.3	JIS R 5201
圧縮強さ (N/mm ²)	28日	6.6	JIS R 5201
乾燥収縮率 (×10 ⁻⁴)	28日	9	20°C 65%RH
保釘力 (N/本)	シングル釘	21日	785
	コロニアル釘	21日	1363
	銅釘	21日	363

測定値
建材試験センター

施工上の注意

- 下地の種類や下地表面の仕上状態によりますが、概ね5/10勾配までは、1工程で施工できます。それ以上の急勾配の場合は、ルーフキープモルタルがだれて不陸が生じる原因になったり、下地との付着が低下することがあります。
- ルーフキープモルタルと下地との付着力を増す為、下地の種類や勾配により所定の下地処理を行ってください。
- ルーフキープモルタルの施工直後に、降雨により表面が洗い流された状態になった場合や、初期養生期間中に凍害を受けた場合は、保釘力が著しく低下することがあります。
- 下地の種類や勾配にもよりますが、施工中にルーフキープモルタルの上に乗りますと、滑る恐れがありますから、状況によって命網の着用、あるいは適正な足場の設置など安全に気を付けてください。
- 気温が5°C以下になると予想される場合は、施工を中止してください。
- 使用方法の詳細は施工要領書に従ってください。